

# JERCO REPORT

2021

第 34 号

質の高いリフォームを提供し、事業者の明るい未来を創造する。

- ・ジェルコ 第 13 期定時総会を開催
- ・ジェルコ 盛会長インタビュー
- ・ジェルこまち特集
- ・第 28 回 住宅リフォーム市場動向・景況感調査

変異株に負けない！

ステイホームで

家族団らんできる

リフォームを！

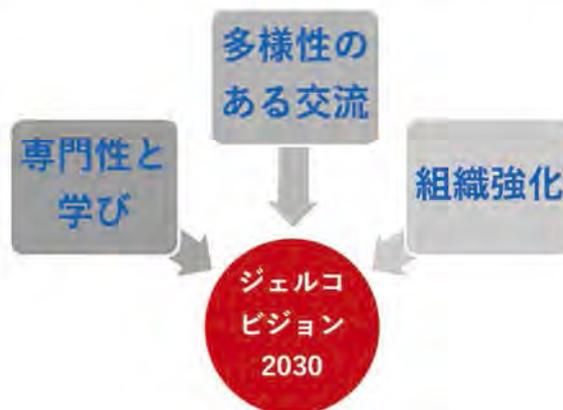


## JERCO VISION 2030

質の高いリフォームを提供し、  
事業者の明るい未来を創造する

### ジェルコ活動3つの柱

しっかり学び・しっかり交流し・しっかりした組織で支える



ジェルコはSDGsを推進します！

# JERCO REPORT

一般社団法人 日本住宅リフォーム産業協会 (JERCO)

## CONTENTS

No.286 2021年 第34号

CONTENTS / 巻頭コラム	3
ジェルコ 第13期定時総会を開催	4
第13期の事業方針と計画骨子	6
盛会長インタビュー	12
新委員長からの挨拶 石原直之 広報渉外委員長	17
ジェルこまち特集 ①ジェルこまち in 鳥栖	18
②第26回 ジャンヌダルクの会	20
追悼 ジェルコ初代会長 谷口政弘さん	22
第28回 住宅リフォーム市場動向・景況感調査	23
ジェルコ事務局 ニューフェイス紹介	28
2・3・4種会員PRコーナー	30
<最新版> ジェルコサービスファイル	32
支部インフォメーション Topics & Event	34
新入会員紹介	37

### ■□■ 巻頭コラム 「コミュニティの強化が課題」

新型コロナウイルス禍が社会生活に大きな悪影響を及ぼしています。ただ、おうち時間が増え、巣ごもりやテレワークといった住まいでの過ごし方に新たなリフォームニーズが生まれJERCO 1種会員のみなさまにとっては「新たなご提案の切り口が増えた」と、前向きに捉えることができるのではないのでしょうか。

支部活動においては、毎月1回開催していました役員会やセミナー、懇親会はオンライン化し、リアルにお会いできないことに寂しさを感じます。しかし、ポジティブに考えれば、これまでは遠方で参加いただけなかった会員様がオンラインでは毎回参加いただけるようになりましたし、九州支部開催のセミナーを本部から全国の会員様へもご案内していただき、他支部の方々にも画面を

通してお目にかかるチャンスが生まれました。コロナが収束してからもリアルとオンラインの両方で会合を開催すれば、より多くの会員様にご参加いただけますし、画面を通して全国の会員様との交流もできると思います。

そしてオンライン化が進むほど、コミュニティを強化する取り組みは重要になることでしょう。ジェルコ会員としての意義や価値観を共有し合い団体への帰属意識を改めて確認することも、コミュニティ形成には欠かせないと意識しながら「ワンチームジェルコ」を目指し、愛ある事務局になれるよう努力しながら、みなさまのお手伝いのできればと思います。

(九州支部事務局 小山 素子)

ジェルコ 第13期定時総会を開催



## ジェルコが目指すSDGsの具体化を推進 リフォーム事業者の10年後に向けて



ジェルコ第13期定時総会は昨年と同様に最小限の人数での開催となった

一般財団法人日本住宅リフォーム産業協会（東京都中央区、盛静男会長）は6月23日、第13期ジェルコ定時総会を東京都港区のメルパルク東京にて開催した。昨年度と同様に、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から総会は最小限の人数での開催としたほか、第13期事業方針ならびに事業計画の動画配信も行われた。

総会の開催に先立ち盛会長は「この新型コロナ禍において多くの命が失われ、社会活動・経済活動が停滞いたしました。その一方で多くの学びや気づきもありました。ちょうど昨今の頃はどこの業界も新型コロナ禍をどう乗り越えていくのか右往左往している状況でした。しかしながら、そうした状況にあっても、しっかりと前に進んでいる仲間が居るということに大変勇気づけられま

した。特に緊急事態宣言下においては信頼性の高い情報の収集・発信・共有を行える仕組みがとて重要だと実感しましたし、ジェルコの役割はまさにそれであると確信いたしました。改めまして今後もジェルコ活動へのご支援・ご協力をよろしくお願いいたします」と挨拶を述べたほか、来賓を配表して、国土交通省住宅局住宅生産課 石坂課長と経済産業省製造産業局生活製品課 永澤課長が来賓挨拶を述べ、議事に移った。

議事では、第1号議案の第12期事業報告および決算、第2号議案の定款の一部変更、第3号議案の第13期事業計画および予算、第4号議案の役員の一部変更がそれぞれ審議され、全会一致で承認された。

議事終了後には盛会長による方針発表が行わ



盛会長による第13期の方針発表



永年会員表彰を受けるトタニホームズ(株)



感謝の意を述べる望月副会長



秋野卓生氏による記念講演

れ、第13期の事業計画について説明すると共に、今後のジェルコ活動の方針を述べた。

続いて、永年会員表彰が執り行われたが、今年も昨年同様に新型コロナウイルス感染症の影響で対象となる会員各社（在籍30年が13社、20年が7社）には事前に感謝状と記念品を贈呈。会場では代表として東京・練馬区のトタニホームズ(株)に感謝状と記念品が授与された。また、ジェルコ発展のため尽力した功労者である(株)やまもと住研の山本正彦氏と、レオイ(株)の政井忠彦氏の訃報が伝えられ、両社のこれまでの功労に対する感謝の意が望月副会長より述べられた。

定時総会の最後には、匠総合法律事務所の代表社員弁護士である秋野卓生氏による「SDGsで未来を拓く」と題した記念講演が行われた。

秋野氏は講演の中で産業における製造の現場と人権問題の関係や問題点を指摘すると共に、人権侵害に対する問題意識からSDGsが生まれ

たきた経緯や、その意義について解説した。続いて、SDGsが掲げる2030年までに達成すべき17の目標について、各々の取組み事例を紹介した。また、昨年からの新型コロナ禍やウッドショックの影響についても言及し、住宅設備機器や木材の流通が遅延したこと例に挙げ、不可抗力の意味合いや、資材流通の停滞と現場の人手不足の問題点、住宅産業の重層構造が抱える問題点、人間の生活における住宅の重要性などについてSDGsがどう関わってくるのかを解説した。講演の最後には、新型コロナ禍でテレワークが浸透しつつある現在、SDGsに関わる様々な観点を考慮した結果、新しい都市のあり方においてはリモートワークファミリーやIターン者を地域と結びつける役割を地場の工務店が担っていくことで新たなビジネスチャンスが生まれると強く訴え、講演を終了。

ジェルコ第13期定時総会は盛況のうちに幕を閉じた。

# 第13期の事業方針と計画骨子

一般財団法人日本住宅リフォーム産業協会（東京都中央区、盛静男会長）では、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、第13期ジェルコ定時総会を最小人数の参加者とオンライン参加者合計77名のハイブリット形式で開催した。

13期事業計画発表に当たって、以下の3点を留意すべきポイントとして挙げた。

## ① 今、ジェルコに求められているもの

- ・コロナ禍によって社会経済活動が大きく停滞している状況
- ・民法改正、2050年カーボンニュートラル（脱炭素）、ウッドショック、SDGs

## ② ジェルコビジョン2030の発信から2年……

- ・2030年のジェルコ、リフォーム事業者のあるべき姿を描いている
- ・3本の柱（専門性と学び・多様性ある交流・組織強化）で構成

## ③ 13期に目指すこと

- ・ジェルコとリフォーム事業者の10年後に向けて

## 【第13期 事業方針・計画骨子】

### 1. ジェルコ宣言（ジェルコの使命）

- ・ジェルコは、安心・安全なリフォームを提供する事業団体として、生活者の快適な住環境を創造します。
- ・ジェルコは、リフォーム事業で培った知識・経験を活かし、変わりゆくリフォーム産業界のリーダーを目指します。

### 2. ジェルコビジョン2030

ジェルコビジョン2030は、2030年のジェルコのあるべき姿を描き、その実現のために生活者へ安心と豊かさを提供する「質の高いリフォーム事業者」として存在することを目指すものである。

そして激変の10年に求められる4つの期待に応えていく！

リフォームを通じて生活者の多様な生き方を支え、豊かな住生活を提供するのが我々の役割であります。

## ジェルコビジョン 2030 スローガン

ジェルコ会員へのメッセージ

「質の高いリフォームを  
提供し  
事業者の明るい未来を  
創造する」

生活者へのメッセージ

「リフォームで家が変わる  
と暮らしが変わる」

生活者の期待

豊かな暮らしの質を高めたい

・家時間を楽しく快適に過ごしたい！



事業者の期待

成長と安定

・安定した成長、明るい未来を創造したい！



・ジェルコのリーダーシップを発揮してほしい！

社会・行政の期待

持続可能な社会とストック活用



未来への夢

働き手の期待

・安心して働きたい！  
・家族との時間を大切にしたい！  
・リフォーム技術向上を目指したい！



### 3. ジェルコリフォーム

「10年後も感謝されるリフォーム」を「質の高いリフォームで」実現させる。

これからの社会は、地球温暖化、人口減少、少子高齢化、労働人口の減少、高度テクノロジーの急速な発展など社会環境の変化に満ちています。

コロナ禍の影響から「新しい生活様式」を迎え生活者からの要望も多様化し、質の高い技術、専門知識、ノウハウが求められる。そこで、「ジェルコリフォーム」です。

「ジェルコリフォーム」とは、豊かな未来を描くリフォーム事業の羅針盤と位置づけ、質の高い事業者による、安心・快適・健康を基本とした、豊かな住まいと暮らしを実現するジェルコらしい質の高いリフォームのことで。

「確かなインスペクション」、「質の高い提案と設計と施工技術」、「質の高い保証とアフターサービス」、「リフォーム瑕疵保険、住宅履歴管理」、これらに地域性・多様性・持続性・経営品質を加えることで、ジェルコリフォームを通じた資産価値向上に繋げていく。

ジェルコリフォームが求める（認定する）質のガイドラインは以下となっている。

- ・リフォーム工事前にジェルコインスペクション（建物の現況調査）を実施し、生活者に書面で説明する内容
- ・ジェルコリフォームが基準とする住宅性能を定め、その基準を満たすリフォーム提案、設計、工事を実施する内容
- ・ジェルコリフォーム工事の履歴と維持保全計画を作成し、保管する
- ・地域性に配慮した住宅リフォームの推進（気候・風土・地域文化）
- ・持続可能な住まいと暮らしの推進（SDGs、減災、空き家）
- ・500万円以上の工事リフォーム瑕疵保険加入又は非加入確認書作成
- ・ジェルコリフォームプレゼン内容

一般的に現状では、グレーな施工が多く、また技術も勘と経験のみで対応するリフォームが多い。知っていて欠陥工事をするのではなく、知らないで施工して、結果として住まいの寿命を短くしている現状がある。

そこでジェルコリフォームは3つのステージで計画し、全会員のボトムアップを図っていく。

■ステージ1：リフォーム知識・技術を学ぶ場

・性能向上リフォーム、住宅リフォーム総合技術者2級、水廻り設備

■ステージ2：長期優良化住宅リフォームができるようになる

・インスペクション、性能向上、耐震、断熱、省エネ、シロアリ、雨漏り

■ステージ3：高度リフォームを研究習得

・持続可能な社会に貢献する技術を習得する

4. SDGsについて

SDGs（持続可能な開発目標）とは、2015年9月の国連サミットで定められた、2016年から2030年までの達成を目指す国際目標のことで、17の目標と167のターゲットのこと。

世界規模で進めるSDGs活動は、人々の進むべき方向を示しています。SDGsの目標達成のために私たちにできることを共に考え行動していきましょう。

5. 第13期 事業計画 (3本の柱)・委員会活動

ジェルコビジョン2030を達成するための  
ジェルコ活動3本の柱



ジェルコはSDGSを推進します！

しっかり学び、  
しっかり交流し、  
しっかりした組織で支える

ジェルコ活動3本の柱は、ジェルコビジョン2030を達成するためのもの。

ジェルコ活動1本目の柱が「専門性と学び（質の高いリフォーム事業者の育成）」、2本目の柱が「多様性ある交流（出会いと気づきと人脈づく

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



ジェルコが目指すSDGsを具体化していく



り)」、3本目の柱が「組織強化(社会環境の変化に対応した組織づくり)」となっている。

### ■ジェルコ活動1本目の柱「専門性と学び」 (質の高いリフォーム事業者の育成)

#### ①ジェルコリフォーム教育カリキュラム推進

- ・初級・中級研修を支部、各会員へ導入
- ・上級編の内容を纏める
- ・ジェルコリフォーム総合技術者2級
- ・オンラインを活用した研修会、セミナーの実施

#### ②性能向上プレミアム住宅

- ・性能向上プレミアム住宅のツール作成
- ・会員企業への認知度アップ

#### ③SDGs推進PJ

- ・目標を設定しジェルコ活動のフラッグとして掲げる

#### ④安心R住宅の認知度向上

#### ⑤移住計画のスキーム確立

### ■ジェルコ活動2本目の柱「多様性ある交流」 (出会いと気づきと人脈づくり)

#### ①会員増強

- ・リアルセミナー実施(全国8支部で開催)
- ・活動のオンライン化(ベストミックス)を進める
- ・会員成功例の共有(動画化……)

#### ②女性活躍の推進

- ・ジェルこまち活動の全8支部活動実施
- ・ジェルこまち全国大会実施
- ・女性活躍経営目標の設定

#### ③全国実践研究会・支部間交流会の開催

#### ④新入会員のフォロー活動

- ・welcome JERCOの実施

#### ⑤ジェルコ案内動画作成

### ■ジェルコ活動3本目の柱「組織強化」 (社会環境の変化に対応した組織づくり)

#### ①本部、支部事務局機能と組織体制の強化

- ・支部サポート体制強化(担当副会長が積極的に関与)
- ・管理システムの導入(本部⇔支部⇔理事)見える化
- ・正確な情報収集・情報発信・情報共有できる仕組み
- ・各会議・活動のオンライン化を進める(ベストミックス)
- ・生活者への情報提供と相談窓口強化(コレカラ)
- ・リフォーム事業者登録団体として行政、他団体と連携した活動
- ・ZUTTOあんしん事業
- ・みんなのミカタ(所得補償)、ジェルコ総合補償保険(工事保険)

また、ジェルコ活動発信の場として、以下の活動に取り組んでいく。

#### ①リフォームコンテストの実施

- ・応募増を目指す工夫
- ・リーガルチェック基準見直し
- ・リアルとZOOM中継の実施

#### ②ホームページ管理・運営

- ・ホームページWG設置(活性化、有効活用)
- ・会員交流を意識したコミュニケーションツールとして
- ・コレカラのプロモーション

#### ③ジェルコレポートの企画運営

- ・レポート内容の更なる充実

#### ④リフォーム減税・補助金研究会

# 第13期各委員会活動骨子

## 性能アカデミー委員会

1. ジェルコリフォーム教育カリキュラム
  - ・初級・中級研修を支部、会員企業へ導入
  - ・上級編の内容を定める
  - ・ジェルコリフォーム総合技術者2級
2. 性能向上プレミアム住宅
  - ・性能向上プレミアム住宅ツール作成
  - ・会員企業への認知度アップ
3. SDGs推進PJ
  - ・目標を定めて進めて行く
4. 安心R住宅の認知度向上
5. 移住計画のスキーム確立

専門性を高める学びのスキームづくり

## 体制整備委員会

1. 会員増強
  - ・リアルセミナー実施（全国8支部で開催）
  - ・上記に合わせてZOOM中継の実施
  - ・会員成功例の共有（動画化・・・）
2. 女性活躍の推進
  - ・ジェルこまち活動の全支部活動実施
  - ・ジェルこまち全国大会実施
  - ・女性活躍経営目標の設定
3. 支部交流会の実施
  - ・目標を定めて進めて行く
4. 全国実践研究会・支部間交流会の開催
5. 新入会員のフォロー活動

新しいコミュニケーションツールで活動を充実させる

## 広報渉外委員会

1. リフォームコンテストの実施
  - ・応募増を目指す工夫
  - ・リーガルチェック基準見直し
  - ・リアルとZOOM中継の実施
2. ホームページ管理・運営
  - ・ホームページWC設置（活性化、有効活用）
  - ・会員交流を意図したコミュニケーションツールとして
  - ・コレカラのプロモーション
3. ジェルコレポート
  - ・レポート内容の更なる充実

ジェルコ活動を伝える

## 事務局連絡会議

1. 会員増強
  - ・リアルセミナー実施（全国8支部で開催）
  - ・上記に合わせてZOOM中継の実施
  - ・会員成功例の共有（動画化・・・）
2. 女性活躍の推進
  - ・ジェルこまち活動の全支部活動実施
  - ・ジェルこまち全国大会実施
  - ・女性活躍経営目標の設定
3. 支部交流会の実施
  - ・目標を定めて進めて行く
4. 全国実践研究会・支部間交流会の開催
5. 新入会員のフォロー活動

愛あるジェルコで支部との連携

## 6. ZUTTOあんしん事業

OB顧客管理を効率よくできるシステム

### ①目標（理想）

- ・コストを掛けることなくOBお客様の定期点検が行え生涯顧客化に繋げる
- ・顧客の囲い込みが無理なくでき、安定した受注が期待できる

### ②活動

- ・OBお客様へ定期的に訪問し、点検、調査を行う
- ・シロアリ事業者（全国組織組合）との協業活動でコストを抑える
- ・床下点検、調査（シロアリ・断熱・基礎・配

管）：シロアリ事業者が行う

- ・外部点検調査（基礎・屋根・外壁・設備・室内）：ジェルコ会員が行う
- ・調査結果を報告書として提出し、営業活動に活かす

お客様から見て

- ・信頼おけるリフォーム事業者からの紹介なので安心して調査依頼できる！
- ・さらにジェルコと専門調査員が点検・調査してくれるので信頼できる！
- ・質の高い住宅の維持管理が確立することで住宅の資産価値向上が期待できる！

## 7. 人手不足（なり手不足）

リフォーム業界に優秀な人材が集まってくるの!?

### ■人手不足対策は業界全体の問題（RISK）

ジェルコレポートを見ると、リフォームの経営上問題となりそうこととして、「現場職人の不足・高齢化」を6割を超える会員が指摘している。また、「設計士、現場監督の不足」も4割に迫る勢いとなっている。これからは営業職の人材不足より、現場や技術者不足が経営の大きな問題として深刻化してくる。

## 8. 最後に

「コロナ禍で学んだことをジェルコ活動に活かしましょう」

- 危機管理において大切なことは、正確な情報収集・発信・共有すること
- 連携・協力・結束できる信頼関係づくり（交流活動）大切
- 質の高いリフォームを提供し学び続けること

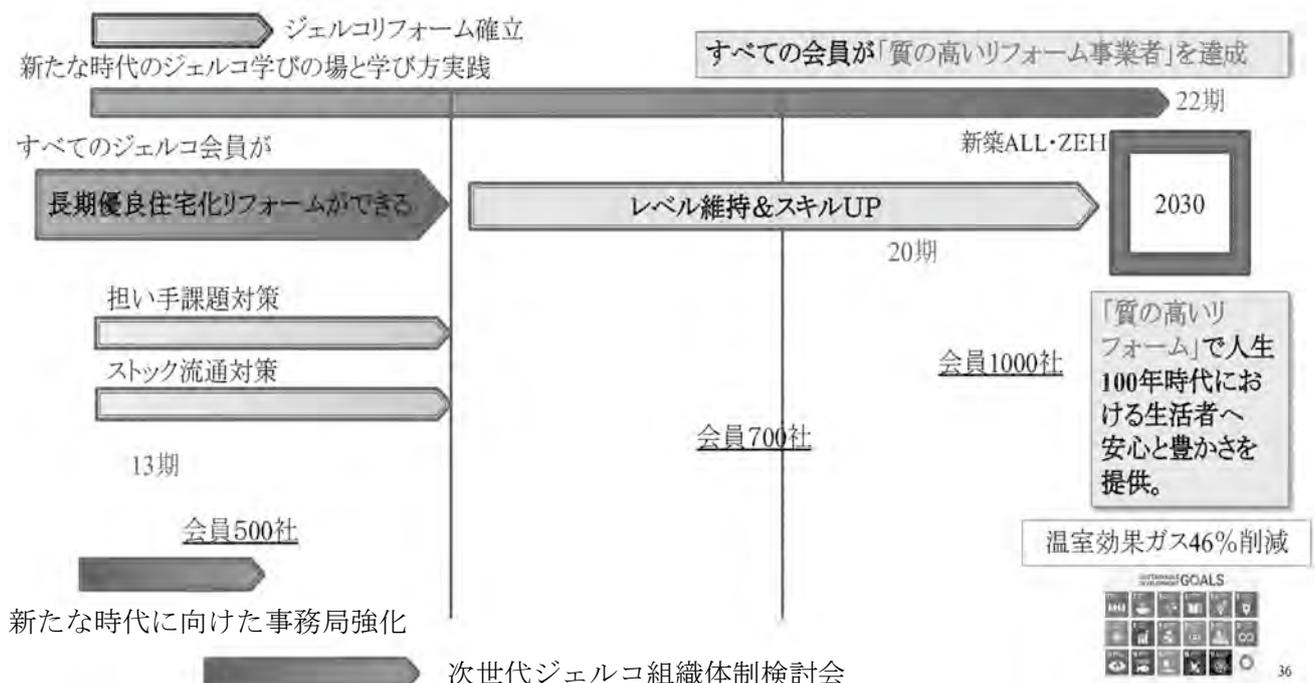
アフターコロナの中で、経営の上で問題となることは？



### ■減災リフォームへの取組み

- SRVアクション（住まいの・リスク・予知）
- 新しい生活スタイルに対応した提案、活動
- 新しいコミュニケーションツール構築する
- 持続型社会へのアプローチ、現場や技術者不足が経営の大きな問題として深刻化してくる。

## ジェルコビジョン 2030 推進ロードMAP



# コロナ禍の一年とジェルコビジョン2030の意味とは

## コロナで気付かされた最も大切なこと 「正確な情報」の収集、発信、共有

(一社) 日本リフォーム産業協会  
会長 盛 静男

コロナ禍の中、ジェルコでは「ジェルコビジョン2030」を掲げ様々な活動を展開してきた。けん引役の盛静男会長は、今年度をビジョンの目標設定の総仕上げの年と位置付けてスタートした。6月24日の総会も無事終わったところだが、改めてコロナ禍のこの一年間で気付かされたことや問題点、ジェルコのこれからの活動などについて語っていただいた。

——コロナ禍が一年以上続いています。危機管理だとか、ニューノーマルだとか、業界のみなさんも色々感じてきたと思うのですが。

**盛** コロナ禍という危機管理で、この一年間僕が思ったのは、事業者にとって平時であっても、緊急時であっても、一番大切なことはこれだなあと感じたことがあります。

これは最近よく口にしてはいるのですが、「正確な情報」収集です。この必要性をコロナで気づかされた。正確な情報そのものが企業が生き抜くための戦略として非常にアドバンテージがあると思いました。元々重要な事なんでしょうけど、それをすごく感じました。

僕自身の具体的な例を言いますと、昨年ちょうど今頃、関東甲信越支部のドクターリフォーム・サンセイの山口博人さんがメールか何かでリフォーム提案について発信されていた。自宅にウイルスを持ち込まないようにするために、玄関に手洗いをつける提案をしていると言っていたので

す。その当時は、まだ皆がコロナで右往左往している時ですが、彼はそんな提案をしていた。

そうした情報が全く知らない所からの発信であれば、なんとなく軽く思ったと思うのですが、僕は彼をよく知っている。信頼している人からの情報ですので、これは「正確な情報」だと感覚的に理解できたのです。

ですから、この一年を通じて非常時に重要だと思ったことは、よく考えてみれば平時でも大事であると感じたことです。そうした正確な情報を得るには、今後どうしたらいいかということ、我々ジェルコとか一事業者として考えるべきだと思っています。

ただ、「正確な情報」の収集で一番気になっているところは、最近多いフェイクニュースです。フェイクに騙されないようにするためには、先ほどの繰り返しになりますが、やっぱりよく知っている団体、信頼のおける人からの情報収集が大事だと感じています。

——企業存続に欠かせない売上とか現場生産力等の問題についてはどうでしたか。去年の緊急事態宣言時は、かなり落ち込んだようですが、最近は何とか回復してきていると思いますが。

**盛** 私の会社も多少波があったのですが、年間トータルすると5%くらいしか実績が落ちていないのです。良かったなあと思うのですが、それはなぜかと考えると、昨年ちょうど今頃に「コロナはしばらく続きそうだな」と変な直観みたいなものがあったからです。

それで現場でもすぐ消毒の準備とか事務所に感染防止スクリーンをつけるとか、空気清浄機を10台付けたりと一気にやったのです。そうすることで、コロナに対する会社の明確な姿勢が社員や取引業者さんにも伝わっていくんじゃないかなと思ったんですね。

接客に関してもオンラインでやるようにしました。これも去年の今頃に喜多ハウジングの今井さんがやっているということを聞いたからです。これも情報ですよ。

最近は社内でリモートによる打合せ、お客さんとのやり取りも増えてきています。ですから我々リフォームの仕事の仕方も、これからそういうことが日常と言うか、今後更に増えていくだろうと感じています。

——次のテーマですが、お客様からコロナ対策などで様々な要望があったと思いますが、生活スタイルの変化という観点から見てどうでしたか。

**盛** 両極端になってきましたね。コロナ対策なんかでも気にされる方はものすごく気にされる。

実はこの前、うちの会社でクレームがありまし



**盛 静男 会長**

た。空き家状態で工事をした物件でしたが、お客様が怒ったのは住み始めてからクレーム発生・補修工事となったことに対してです。「通常だったらやぶさかではないが、コロナの時に何故こういうことになるのだ」とかなり言われた。

お客様の意識としては、感染対策で家を空けて工事をしてもらったのに役に立たなかったということです。コロナの真っ最中だから余計にそうでしょうが、今後もこういうお客様の感覚はある程度続いていくと思います。

また、コロナ対策のニーズとして、お客様からいろいろ話を聞くと実際は工事に繋がっていないかもしれないけれど、換気機能のついた部屋等が欲しいというものがありました。

私は今回、国の事業再構築補助金を申請したのですが、目的は三密対策の家具制作です。オリジナルで手洗い付きの家具とか、換気機能付きのデスクとか、空気清浄機をセッティングした会議テーブルなどを作る工場を作ろうと計画しています。先ほどの山口さんの玄関に手洗いの例もあり

# コロナ禍の一年とジェルコビジョン2030の意味とは

ますので、これは需要があると思っています。

お客様の新しいニーズをどこまで捉えているか、市場が今後大きくなるかどうか分かりませんが、何人かのお客様からそういう要望があって、私なりにこの地域の市場を考えると、需要はあるのかなと思いました。

——モノづくりへの対応もありますが、アフターコロナの需要回復となれば、職人不足をはじめとして技術力、技術者の不足などが非常に心配されますが。

**盛** 人に関しては、若い職人さん不足だとか、またリフォーム業界に優秀な人が集まってくるかどうかとなると、非常に疑問なところがあります。

元々3Kの職種ですし、そもそも福利厚生には問題が結構あると思います。給料も比較的はまだ安いし労働時間も長い。そういうところを改善していかないといけない。

これらの問題も今回のコロナではっきりと見えてきた。見えてきた問題点を解決していくというのが、今後の正しい方向を捉えることであるのかなと思います。

一方では、最近日本は自然災害が多くて、建物被害も頻発していますが、台風で屋根が飛んだりするのを見ていると、ちゃんと施工できていたのかという疑問、金物の数が足りなかったのではなどと心配になります。

そういった施工不良等の問題は、10年も20年も前から分かっていたことなんですけど、なかなか現場で正されてこなかった。これは僕もジレンマで悔しいのですが、本来は我々の業界がみんな考えていくべきものだと思うのです。今まで出来ていないのが事実です。だから、その部分も今回

のコロナをきっかけに明確に考えなければならなくなってきたと思います。危機管理として取り組まないといけない。これもちゃんとやって行くべきだと思います。

先ほど「正確な情報」と言いましたが、これは「正確な技術」ですね。昔から言われてきた悪質悪徳リフォーム業者の話ではないですが、結局業界全体としてみれば、間違った知識を覚えてそのまま施工している業者さんが大勢いるわけです。

それがいまだに治せないし、逆に当たり前になっている。うちの会社もそうかもしれない。それをどうやって直していくかということさえ、なかなか実現できていないと思います。

——そうした問題の解決のためには具体的にどのような取り組みが必要だと考えていますか。

**盛** うちの会社は、そうした間違いを起こさないため、中間検査に力を入れ進めています。リフォームも建築ですからその基本的な所をやるということが大事なんです。

特に今は、「家時間」が長くなってリフォーム需要増えているので、小工事から大規模までいろいろな仕事が増えている。そうした多様な工事を日々行っているわけですが、いざクレームとなればどんな現場でも二回も三回も行かなければならない。出戻り工事があるというのは我々にとって、これほど無駄なことはない。

この問題を根本から解決しようと思えば、やっぱり「質の高いリフォーム」をしていかななくてはいけない。小さな工事は、すぐ問題が見えますが、ある程度の規模になってくると中間検査をして、早期に悪いところを見つけ直していく。これは絶対やらなければいけない事です。

うちの中間検査は、昔は何ページもあるようなチェックシートを持って行っていたのですが、それでは続かないのです。私は中間検査の用紙はペラ一枚でいいと思います。それをやること自体が物凄く大事なんです。それだけでは100点満点とはならないと思いますが、ペラ一枚でも70点程度は行けると思うのです。

その重要性を思うと、専門部署をきちっと作った方がいいかなと最近思っています。会社の規模にもよるのですが、うちは20数名ですがうちくらいの規模になってきたら、やっぱり中間検査を主にして現場を回れる人が一人絶対必要だと感じます。

——そういう意味からすると、施工品質というクオリティーの点である程度の方向性を示していくというのが必要だと思いますね。それがジェルコリフォームということなんでしょうか。

**盛** それが本来のジェルコリフォームです。いまジェルコリフォームは少し高度なことをやろうとしているようですが、本来はもう少し低い、当たり前のことをできる事業者を増やす事のほうが優先順位としてあると思っています。僕はずっとそれを言っているのですが、なかなかうまく伝わっていないような気がします。

どこの現場に行っても、クレームの原因は八割が基本的なことです。高レベルなことでのクレームは少ないように感じています。工事の基本がしっかりしていることが、やっぱり重要だと思うのです。

ただ、目標を余り下のレベルにすると、スキルアップできないと思うのです。だから、ちょっとハードルを高くしてやることは必要ですね。

今、国からリフォームでも耐震や省エネなどへの対応が求められ厳しく言われています。そうすると、どうしてもレベルの高いものになってしまうのですが、まず基本をきちっと学ぶということも本来は必要だと思います。

——次に持続型社会へのリフォーム事業者としてのアプローチについてお聞きします。ジェルコでもSDGsへの取り組みをはじめますが。

**盛** ジェルコでのSDGsの取組についてはこれからですが、誤解のないようにしておきたいのは、SDGsの17項目について、その中のいくつかをジェルコで実現しようという意味ではないのです。SDGsという考え方を先ずジェルコのみんなで共有し、リフォーム業者としてできることを一つでも二つでも進めていこう狙いです。

うちの会社でも余り出来てはいないのですが、去年倉庫を建てたとき倉庫の屋根に無理やり太陽光発電を載せた。私の気持ちの中では、そういう環境対策を会社としやって行く姿勢が重要だと思ったのです。数キロワットの発電ですが事務所の分の電気代くらいは賄えます。そういう小さな活動も大事だと思っています。

今後はジェルコでのSDGsをもう少し進めて、それに従う形で会社の方も進めようと考えています。

また、業界全体でもしっかり取り組んでいく必要は感じます。SDGsの内容をしっかりと読むと、生活の全てで必要な事ばかりですので、日頃から意識をもって会社の活動に生かしていくことも可能です。ですから、ジェルコという団体としてみんなで活動できるSDGsのいくつかポイントを作ってやるということも重要だと思います。

# コロナ禍の一年とジェルコビジョン2030の意味とは

——今年は盛会長の総仕上げの年ということで、ジェルコビジョン2030をはじめ様々な事業活動が盛りだくさんですが、特に今期力を入れていることというのは。

**盛** ジェルコビジョン2030です。これは皆さんの意見を聞いてまとめ方向性を決めたものです。2年前に作ったものですが、今見直してもいい内容だと思っています。ここでしっかりと、2030年に向けて進めていこうという意味をみんな強く固めて欲しいということです。

そして、「正確な情報」の収集、発信、共有ができるような仕組みをこの一年で作りたいと思っています。

これは昔からジェルコの問題でもあると思っています。例えば会員相互の交流という形がありますが、ただ交流・懇親するだけではなく、やっぱり正確な情報の発信、収集ができるような仕組みか何かをつくりたいと思います。

——会長の会社の2030はどんな形になっていると思いますか。

**盛** 規模に関しては、もともとリフォームというのは地域密着だと思うので、何店舗も展開するのではなく、2、3店舗ぐらいまでが良いと思っています。事業内容も今と変わらないと思いますが、ただリフォームのクオリティーを上げようと思えば、職人さんもデザイナーもあと2、3人必要です。

また、事業再構築の補助申請も出していますので、新しい生活様式に応えた家具作り、仕組み作りの人材確保も必要です。そうすると社員数は30名くらいになるかなあとと思います。これくら

いを維持できるような会社作りをしていきたいと思っています。

事業承継に関しては、経営者の思いを分かってもらえる社員にと思っています。地固めをこの数年でやり引き継いでもらいたいと思っています。

——最後に、会員、業界に向けてお願いします。

**盛** これからの時代は、コロナでも明らかになったと思いますが、仕事に対する問題意識、新たな取り組みなどについて、以前の平常時以上に広く深く考えていかないと、これからの企業は、特に我々零細企業は潰れていくと思います。

私が自社の2030年の話をしましたが、そのころになってくると、営繕とか専門的な工事は残るかも知れませんが、常に競争に立たされている我々リフォーム事業者は減っていくと思います。今のままでは多くが生き残っていけないと思います。そうならないためには経営の質を高め、柔軟性のある形の経営でないと対応できないと思いますし、もっともっと勉強していかないと絶対だめだと思います。

数年前の大工さんとか工務店のやり方では絶対だめだと思います。ジェルコの会員だけでなく、全国のリフォーム事業者の皆さんに対しても、ジェルコとともに活動して、経営も仕事内容もクオリティーを高めていきましょうと言いたいです。

——ありがとうございました。



## 広報渉外委員長

### 石原 直之

ジェルコ会員の皆様、この度熊谷前委員長から広報渉外委員会、委員長を仰せつかりました石原直之でございます。よろしくお願いいたします。

広報渉外委員会の主な業務は、

- 1.ジェルコの認知活動  
(リフォーム業界、生活者)
- 2.リフォームコンテストの実施及び普及活動
- 3.ジェルコレポートの企画、運営
- 4.ホームページの活用  
(会員、非会員、生活者)
- 5.コレカラ  
(生活者からのリフォーム相談窓口)

になります。これらの主幹業務に加え今期は会員の方が減税、補助金のなどの資金計画を行いやすくする仕組みを作るための減税、補助金PJも立上げました。またホームページの活性化PJもスタートしました。

生活者の皆様には、ご自分が相談しているリフォーム会社の入会しているジェルコをホームページで調べた時に、その実績や真摯な活動をご覧いただき会員様の信用の補填に

なるようにコンテンツを最適化する事や、リフォーム会社を探して訪問頂いた方にはジェルコ会員の中から相談先を検討しようと思っただけのような情報提供に改善してまいります。

会員方には引続き性能向上委員会や、体制整備委員会で作成いただいた有益なコンテンツや時節に合った有益情報を提供、ご自由に閲覧できるように改善をしております。

非会員の方にも、会員の皆様がジェルコを紹介された時に、ホームページをご覧いただくことでジェルコご紹介の一助になるように改善してまいります。

ジェルコの魅力は全国のリフォーム会社様の行動に基づいた、地に足の着いた使える情報が集まることにあると思います。ホームページやジェルコレポートを活用し会員の皆様にもっと活用していただける状況を作っております。

会員の皆様の真摯な活動を行政や、マスコミなどに提供することにより、そこから生活者の皆様に伝わる事を模索してまいります。デザインコンテストは毎年レベルが上がり質、量ともに業界を代表するコンテストに成長して参りました。今年から審査員長が近畿大学教授の宮部先生に代われさらなる進化を期待しております。

以上の事柄を委員の皆様と進行してまいります。ご支援ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

♡ 2021年 ジェルこまち in 鳥栖

## 「ZOOMでショールーム見学」を開催

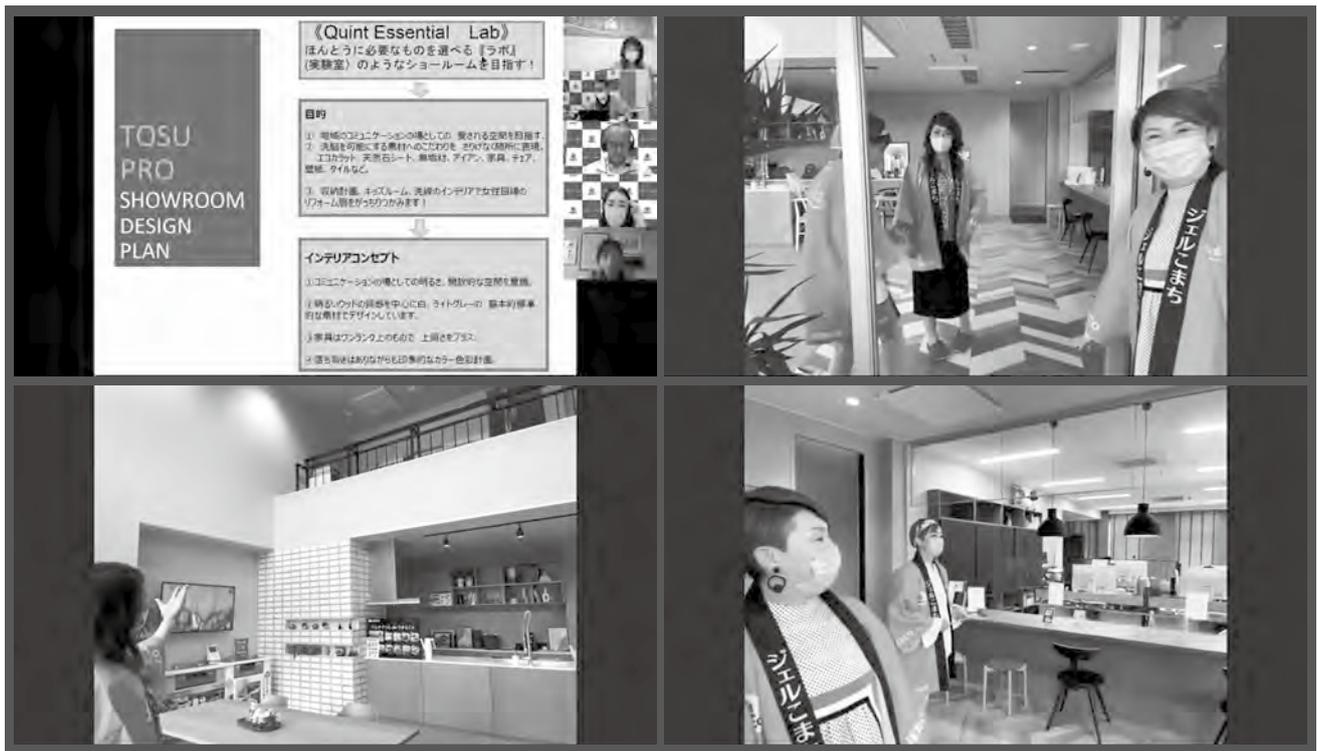


### 第一部は(株)筑豊住建の宮田氏によるプレゼンやデザイントークが行われた

リフォームビジネスでの女性活躍を推進する「ジェルこまち」は、今年で発足から3年目を迎える。昨年は新型コロナ禍にあってもセミナーや交流会などを積極的に開催し、ジェルコ活動のなかでも高い存在感を示している。

2021年のジェルこまち活動は4月16日に(株)トスプロのショールームで開催された「ジェルこまち in 鳥栖 @ZOOM」からスタート。第一部は2020年全国新人賞デザイントークと題して、ジェルコリフォームコンテスト2020で新人賞を受賞した(株)筑豊住建のリフォームアドバイザーである宮田望さんをゲストに迎え、受賞作品のプレゼンやデザイントークが行われた。宮田氏は、所属する(株)筑豊住建の概要や自身のプロフィールを紹介

したのち、女性ならではのリフォーム提案のポイントなどについて事例を交えて紹介。まず最初にジェルコリフォームコンテスト2020で新人賞を受賞した「和室二間をガレージへ〜これからの人生を楽しむ古民家リノベーション〜」の事例を挙げ、二間の和室を様々な使い方のできる空間へとリフォームするデザインの手法を紹介した。続いて、北欧風カフェをイメージしたリビングの提案やビタミンカラーを取り入れた中古住宅リノベーション、可動式収納を備えたリビングのリフォーム、築80年以上の古民家を構造材や欄間、障子などを再利用しながら斬新なデザインを盛り込みリフォームする手法が紹介された後、九州・沖縄支部で優秀賞を受賞した「日本庭園のある住まい



## 第二部は(株)トスプロのショールーム見学会をオンラインで開催

「～家族からゲストまでもてなす空間～」の事例を紹介。開口部を減らして、収納をキッチン裏にまとめるなど、大胆なレイアウト変更を行いつつ、装飾をしなくても空間が綺麗にみえるようなデザインの提案手法について説明した。最後に、入社10年目にコンテストで受賞したことを契機に、知識を増やし、人間性と技術の研鑽、サービスの向上に努めていくことを今後の抱負として述べた。講演後にはジェルコで副会長を務める、(株)光テックの夕部美子氏とリフォームデザインについてのディスカッションが行われたほか、質疑応答も行い、第一部を終了した。

第二部では2020年9月に完成した九州・鳥栖の(株)トスプロのショールーム見学会をオンラインで行った。冒頭で、同社の野田哲郎社長が自社の概要や沿革、社屋のデザインなどについて説明。次にショールームをデザインしたインテリアコーディネーターの田崎由美子氏による「ほんとうに

必要なものを選べる『ラボ(実験室)』のようなショールームを目指す!』というコンセプトや間取り、設備等の選定、収納計画、打ち合わせで苦労した事などについて説明した。

第二部の後半では夕部美子氏と野田由香氏によるオンライン見学会がスタート。最初に外構部の特徴を紹介。ショールーム内の紹介では田崎氏も加わり、床暖房を備えたリビング、くびれニッチを取り入れた内装、意図的に冷蔵庫やパントリーを隠したキッチン、二階の事務所スペースなどを閲覧の様子をリモートで配信。最後に質疑応答を行い、オンライン見学会を終了した。

次回は「第3回ジェルこまちDAY」を9月14日の13時からTDYショールーム新宿で開催予定となっており、ZOOMでの配信も行われる。各支部のジェルこまち達の成功例・失敗例のほか、インテリア・デザイン・事務・管理職など色々な立場からの体験談を紹介する予定となっている。

ジェルコ関東甲信越支部 第26回 ジャンヌダルクの会

活躍する女性リーダー

まぶしい3名の女性の仕事の流儀



第26回ジャンヌダルクの会 講師は瀧澤氏（左上）、荻野氏（中央）、鈴木氏（右上）の3名

ジェルコ関東甲信越支部の女性の交流の場である「ジャンヌダルクの会」は体制整備委員会が主催となって2013年にスタート。この6月10日のオンライン開催で26回目を数える。

今回は「企業の成長は女性の活躍から」をテーマに、女性らしい多様な視点、感性、価値観を生かして活躍する女性3名の仕事の流儀を紹介した。講師として招かれたのは、(一社)リノベーションコーディネーター協会代表理事の瀧澤佐江子氏、(株)ワイドアルミ総務課長の荻野みき氏、ホームテック(株)エントリエの鈴木栄弥氏の3名。司会は体制整備委員長の中島明美が務めた。

仕事の流儀を紹介する一人目は瀧澤氏。リフォーム（古くなったものを元に戻す）とリノ

ベーション（暮らしに合わせて形を変え質をあげる）の違いについて解説するとともにコーディネーターの仕事や考え方について紹介した。続いて、自信の経験から設計士としての顧客との関わり方や女性ならではの提案内容なども紹介したほか、ダイエットなどの体質改善とリノベーションは「なんのためにするのか」、目的の確認が大切という点が良く似ていると解説した。また、これからは「地の時代」から「風の時代」に変化すると指摘し、価値観・スタイルの多様化やヒト・モノ・カネの流動性が重視されるためリノベーションに適した時代になると解説した。後半は自身が手掛けた「未来へつなぐ」リノベーションの事例を紹介したほか、オンラインとリアルでの接客の違い



瀧澤左江子氏の講演「リノベーションで未来を変える」



荻野みき氏の講演「総務部からの発信 ～女性だけの部署で営業部・工事をバックアップ～」

や顧客との関わり方の事例を動画で紹介した。講演の最後はルイス・サリバンの「形態は機能に従う」という言葉を紹介し、顧客の夢や目的などを達成するための形を実現することが今後は重要になってくると訴えた。

二人目の荻野氏は事務担当者としての仕事の流儀を紹介。女性4人で構成している総務部の仕事紹介に加え、仕事で営業と事務の両方に携わった経験を活かして作成された目標達成を可視化するツール「オープンウィンドウ64」の詳細を解説した。続いて、利益の向上につなげるための手法として、問合せ一覧や邸別収支一覧、未完工工事支出金、施工事例などを紹介したほか、中長期の経営計画も公表した。最後にES（従業員満足度）活動やOJTをメインとした人材育成など自社の取組みを紹介するとともに、社内外の仕事で想像

力を磨いていくことが事業の活性につながると解説した。

最後に仕事の流儀を紹介したのは鈴木氏。「“楽しい”からみんなが幸せになる私のリフォーム論」をテーマに、“楽しい”を大切にすることの重要性を自信の経験を交えて説明するとともに、その結果として昨年のリフォームコンテストで受賞した施工事例を紹介。女性ならではの視点で、施主のこだわりと実用性を両立させることで心地よい居場所を提案できると解説し、プラン・設計・施工までの各プロセスを紹介した。続いて、より“楽しむ”ために実践していることとして、集客方法の工夫や自分のファンを育て、自分らしさを失わずに仕事をする中で、顧客や職人、スタッフの幸せにつながると訴え、セミナーを締めくくった。

## ジェルコの大功労者

### リフォームビジネスの 原型作り業界に貢献

ジェルコの創業メンバーで初代会長であり通算17期会長を務めた谷口政弘さんが亡くなった。85歳だった。まさにジェルコの顔として長年親しまれた人だった。亡くなったのは6月24日、ちょうどジェルコの総会開催日だった。

谷口さんは、今日のリフォーム業のかたちを作ってきた人であり、またリフォーム事業者の全国で初めての団体・ジェルコを作り発展に導いた大功労者である。

ジェルコのスタートは40年ほど前で、建築大不況と言われた時代であった。不況脱出のための新たな市場として「増改築」市場を考えようと専門誌・住宅ジャーナルの企画で集まったのが、当時の京都住宅改良センターの谷口さんをはじめ正和工業の佐藤治さん(現ジェルコ監事)等8名だった。その集まりで、これまで「営繕」など雑工事扱いされていたリフォームを「増改築産業」として確立しようということになり、1983年に日本増改築産業協議会が発足しジェルコが産声を上げた。その中心的役割を果たしたのが谷口さんだった。毎月京都から何度も東京に出張し関係官庁や団体、メーカーなどをめぐり「増改築産業」への理解・協力を説いて回った。

今ジェルコは様々な活動を行っているが、谷口さんの会長時代から続いているものも多い。最近では少なくなったが、会員会社等の手法を研究する「ジェルコ実践研究会」は、ジェルコ発足当初は盛んにおこなわれ、毎回100名程集まる人気研修会で会員拡大に大いに貢献した。リフォームデザインコンテスト全国大会も1992年から始めていたが、その前の1987年には画家の池田万寿夫氏

を審査員長に「ジェルコ児童画コンクール」も開催した。「ジェルコ総合補償制度」も、会員と消費者のために役立つ工事補償制度を作ろうという谷口さんの提案でスタートしたもので、当初は「谷口記念」と冠していた。

また最もジェルコらしい伝統を作ってきたのも谷口さんの会長時代からだろう。会議での白熱議論はジェルコの名物だが、出身業種や企業規模、地域が全く違う人たちが集まり、熱くリフォーム論を腹藏なく語り合う姿は今も昔も変わらない。谷口さんは、そうした論客を「これでえーか」とうまく引っ張っていった。話題がリフォームになると「団塊(ダンコン)世代と増改築市場(イチバ)」などと発音するユーモラスな面もあった。

本業では、当時の京都住宅改良センターは営業中心の会社で、「野武士集団」と評されるほどの力強い営業マンがそろい実践研究会でも話題となった。時代はそうしたマンパワーがもてはやされていたバブル期であったが、その後社名を(株)シーズン(CsN)に変更し、今のリフォームビジネスの姿に連なる様々な手法を開発してきた。その集大成となったのが「CsN増改築大学校」の開設だった。リフォームがブームとなる中、経営や市場開発、営業システム、営業マン研修(ロールプレイング)、顧客管理手法などを業界に先駆けて導入し、リフォームで成功を望む多くの若い経営者に伝授、大きな影響を与えた。ジェルコ会員にも卒業生は多かった。その中で「地域密着営業」「提案営業」手法などの原則は今もしっかり業界に生きている。谷口さんは、営繕から増改築へ、増改築からリフォームへという業態変換を自社の体験とジェルコの知恵で作りに上げていった人であった。増改築大学校で教科書として使われていた各種のマニュアル・書式類はジェルコ本部に寄贈されている。

(株)シーズンは、その後高性能・省エネ住宅の建築に進んだが、新築が低価格時代を迎えていたこともあり最終的には全ての事業をたたむことになった。晩年は家庭菜園の手入れで日々を穏やかに過ごしたとのことである。ご冥福をお祈りします。



ジェルコ  
住宅リフォーム  
市場動向・景況調査

# ● 今期4-6月期の景況感大幅に改善へ

## ● 会員の補助金等の活用は半数超える

新型コロナの感染拡大がなかなか収まらない中、東京オリンピック・パラリンピック開催となります。住宅業界では、輸入材の価格高騰、つられて国産材も上昇、また各種資材価格も上昇機運で、今後の市場活発化を見込んでいるようです。その中で住宅・リフォーム市場も一時的な落ち込みはありましたが回復からリベンジ需要への期待も高まっています。国も景気回復の柱として補助金、優遇策などを進めています。また、アフターコロナを見据えた中小企業での事業再構築への補助金も出されています。

しかし、これまでリフォーム業界では、なかなか補助金活用が進んでいませんでした。補助金、優遇制度が矢継ぎ早に出され情報過多でどれを

使っていいかわからない、手続き方法など面倒な事ばかりで分かりづらいなど、理由ももっともです。しかし今までは新築中心だった補助金施策が、最近リフォーム中心になってきており、リフォーム業界も積極的に営業活動の中に取り組みしていきたいものです。そこで今回の調査では、最近のリフォーム関連の補助金・減税措置、優遇策の活用状況、また今後のポストコロナ時代への中小企業のため「事業再構築補助金」(最大6000万円補助)についてジェルコ会員の皆さんの取り組みについてお聞きしました。

今回も会員の皆様から多くのご意見を頂きました。ご回答は会員74社からいただきました。ありがとうございました。

会員企業のプロフィール (年間売上高、社員数、平均粗利益率)

会社情報 (平均)						
	第23回 (R2.4)	第24回 (R2.7)	第25回 (R2.10)	第26回 (R2.12)	第27回 (R3.3)	第28回 (R3.7)
男	8.2	15.9	12.0	10.7	9.8	12.3
女	5.8	11.7	10.9	8.9	6.5	7.6
資本金	2,074	3,117	2,948	2,064	2,756	8,459
年間売上高 (万円)	45,609	83,399	33,918	82,085	35,079	54,156
平均粗利益率 (%)	28.6	28.8	31.3	29.4	27.8	27.5
代表者年齢平均	55.9	57.3	58.1	62.7	55.8	56.2
中央値						
	第23回 (R2.4)	第24回 (R2.7)	第25回 (R2.10)	第26回 (R2.12)	第27回 (R3.3)	第28回 (R3.7)
男	4.0	5	4.5	4.0	5.0	5.0
女	3.0	3.0	3.0	2.0	2.0	3.0
資本金	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
年間売上高 (万円)	20,000	24,500	19,000	22,500	20,000	20,000
平均粗利益率 (%)	28.0	29.0	28.0	29.0	28.0	28.1
代表者年齢平均	55	58.5	58.5	61.0	56.0	58.0
最頻値						
	第23回 (R2.4)	第24回 (R2.7)	第25回 (R2.10)	第26回 (R2.12)	第27回 (R3.3)	第28回 (R3.7)
男	4	1	4	2	2	3
女	3	3	1	1	1	3
資本金	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
年間売上高 (万円)	8,000	30,000	20,000	9,000	30,000	30,000
平均粗利益率 (%)	28.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0
代表者年齢平均	46	71	71	62	48	48

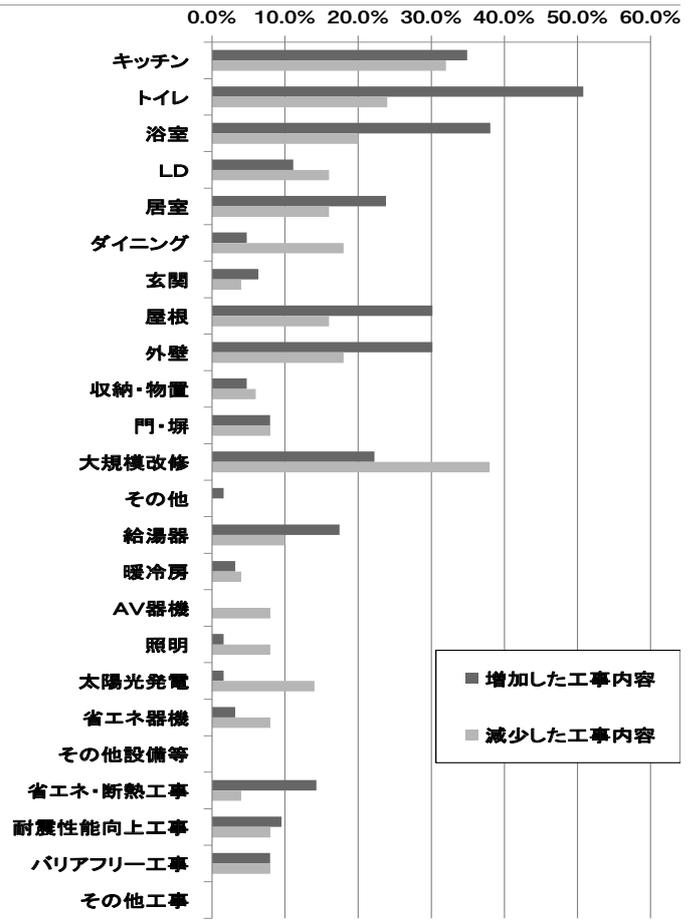
# 1、会員企業の年商、社員数などについて

今回アンケート実施は6月下旬で首都圏の緊急事態宣言も解除となり、オリンピックを控えて人の動きも多くなった。首都圏や関西圏を除けば、感染状況もおさまってきた。4-6月期のリフォーム市場は、そうした状況の中で前期より景況感が大幅に改善した。ただ、オリンピック期間の人流増大による感染拡大が言われており、会員企業の7~9月期の見通しでは、受注件数で「増加」とするところが前期の47%から27%へと20ポイントも少なくなっている。

基本事項の調査では会員企業の社員数、売上高、平均粗利益率等について見てみると、結果は表の通りである。

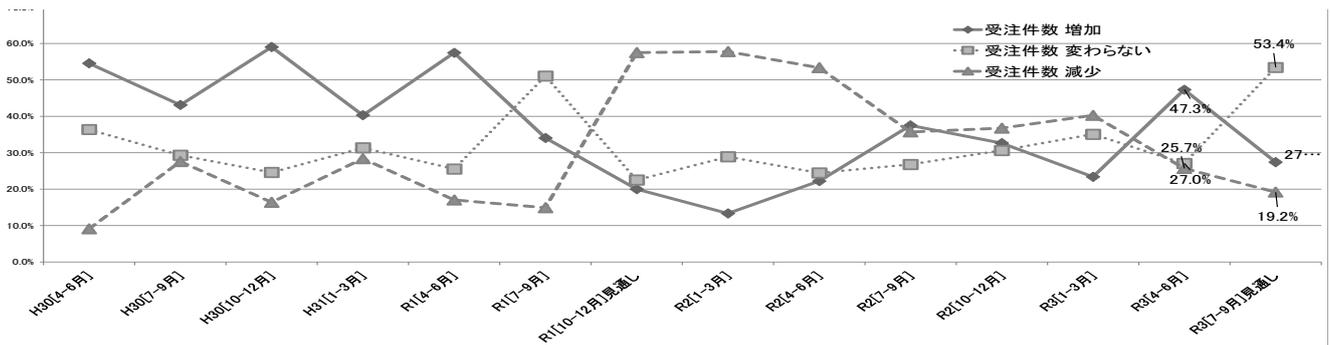
従業員数では平均で男性が12.3人(前回9.8人)、女性が7.6人(前回6.5人)。年間売上高は平均で5億4156万円(前回3億5079万円)。平均粗利益率は27.5%(前回27.8%)であった。社員数、売上高ともに前回の調査より大きくなっている。売上高の中央値は2億円と前回と変わらなかった。粗利益率では、平均値が27.5%と前回とほぼ同じ。中央値28.1%、最頻値30.0%で前回調査と

[4-6月]期に増減した工事内容

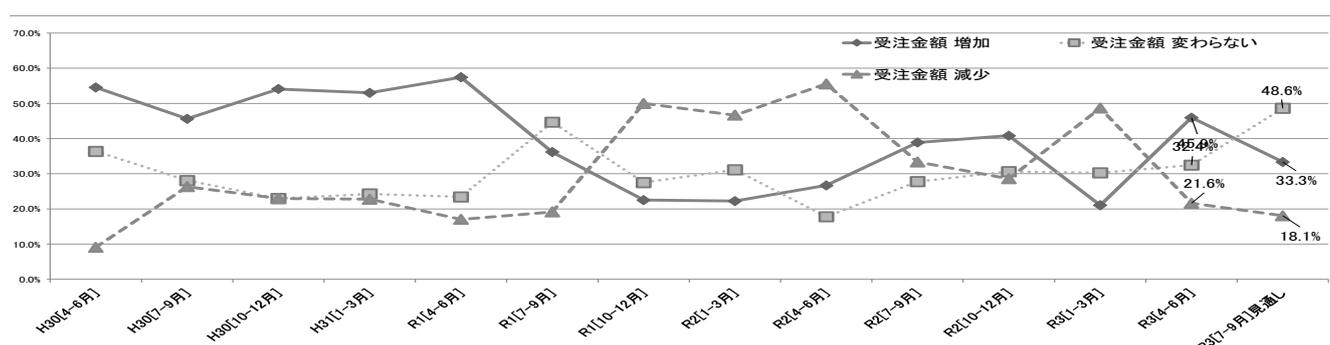


ほとんど変わっていなかった。

四半期毎の受注推移 (件数)



四半期毎の受注推移 (金額)



## 2. 会員各社の景況感について

まず、平成3年度の年初となる〔4・6月〕期の受注については、受注件数では「増加」が47.3%と最も多く、「減少」を21.6ポイント上回った。受注金額でも「増加」が45.9%となり、「減少」を24.3ポイントと大幅に上回り、春の需要期ともあって受注が大幅に伸びたようだ。

工事規模別では小工事（100万円未満）と小中工事（100万円～300万円未満）では、受注件数・金額共に「増加」が40%前後となり、「減少」を20ポイント以上も上回った。大規模改修では件数・金額共に「減少」が40%前後となり「増加」を20ポイント前後上回り、小工事・小中工事と全く逆の結果となった。工事増加の景況感は、中小工事の増加が支えていると思われる。

今期〔7・9月〕期の見通しでは、受注件数、受注金額ともに「増加」回答が「減少」回答を上回ったが、前期ほどの期待感はなく、「減少」回答とは10ポイント前後の差しかなかった。

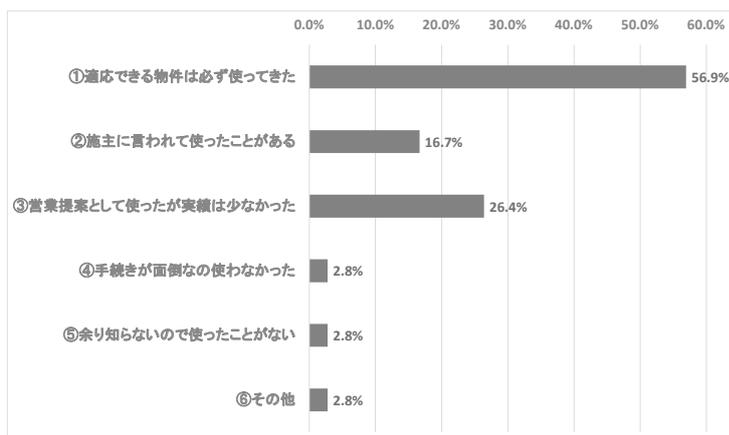
部別別の「増加」・「減少」した工事では、トイレ、浴室で「増加」が大幅に増え、「減少」の2倍程度上回った。また大規模改修は逆に「減少」が「増加」を大きく上回った。

### 3. アフターコロナに向け、補助金・優遇策等の会員企業での活用は？

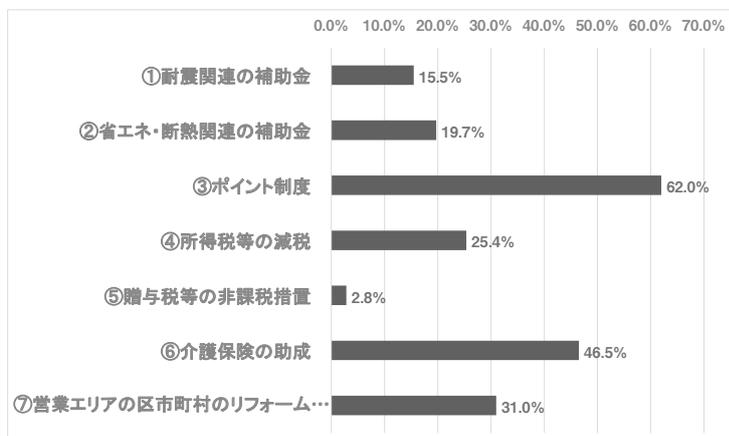
住宅業界は、今後のリベンジ消費だけでなく、アフターコロナに向けてどう対応していくのか。国では様々な補助金・減税、優遇策、さらにはアフターコロナの新たな環境への対応として、新たな市場設定、新規事業への取組への支援を進めているが、今回はこうした補助金・優遇策に対して、ジェルコ会員企業では、今までどう取り組んできたか、また今後の取組はどうか等について聞いてみた。

まず、リフォームに関する補助金、減税、優遇策などの活用で、これまで会員企業がどう取り組んできたかを聞いた。「過去数年間、リフォーム

### 過去数年間、リフォームの補助金、減税、優遇策等を使ったことがあるか



### どんな補助金等を使ったか

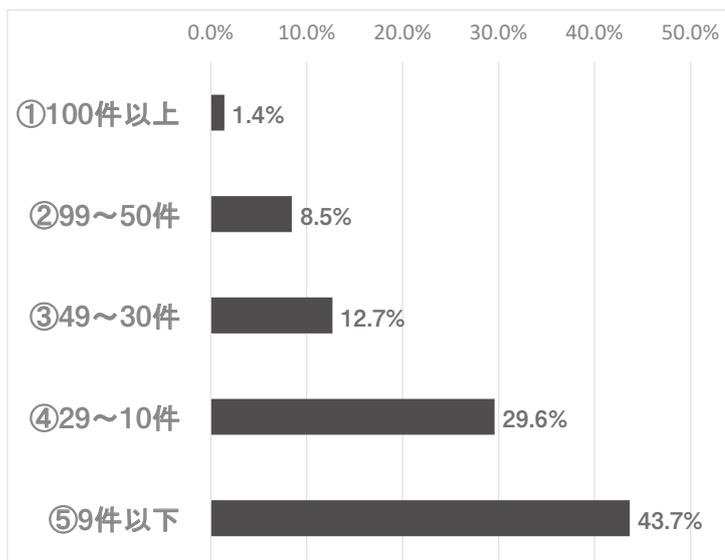


の補助金、減税、優遇策等を使ったことがあるか」では、最も多かった回答は「適応できる物件は必ず使ってきた」が56.9%と過半数を超えた一方で、次に多かったのが「営業提案として使ったが実績は少なかった」が26.4%。補助金等の活用で結果的に否定的な答となった人も多かった。

また、どんな補助金等を使ったかでは、最も多かったのが「ポイント制度」で62%、次に「介護保険の助成」が46.5%、「営業エリアの区市町村のリフォーム関連補助制度」が31%だった。省エネ・耐震関連の利用は10%台と少なかった。そうした補助金の年間利用件数では、最も多かったのが「9件以下」で43.7%、次に「29～10件」が29.6%、「100件以上」は1.4%、1社あった。

今年のリフォーム関連の補助金等で知っているものを聞くと、ほぼ全員知っているのが「グリーン住宅ポイント制度」94.6%。以下半数以上の回

ジェルコ会員の補助金の年間利用件数



答者が知っているものは、「住宅ローン減税」72.6%、「耐震・バリアフリー・省エネ改修での所得税減税」64.4%、「固定資産税の減額」54.8%、「長期優良住宅化改修の所得税減税」50.7%であった。

では、会員企業でのこうした補助金等についてどのように取り組んでいるかを聞くと、「すでに積極的に活用するため取り組んでいる」が47.3%と最も多かった。半数近くの回答者が何らかの取り組みをしていた。次に「社員の個々に取り組み・対応を任せている」が32.4%で、どちらかと言うと消極的な取り組みをしているところも多かった。「社内で補助金等活用の研究・勉強会を行っている」は21.6%であった。

また、今後のポストコロナ時代への中小企業の新たな対応を補助しようと創設

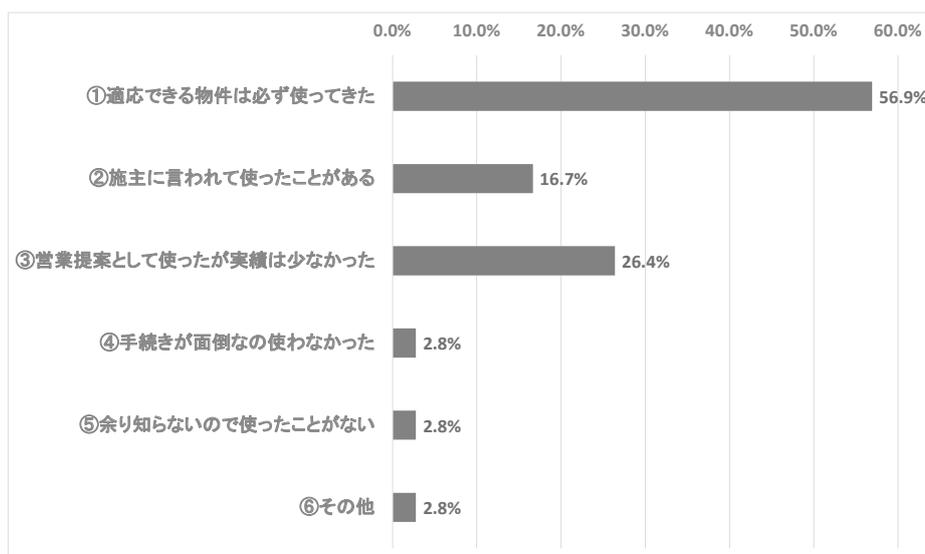
された「事業再構築補助金」（最大6000万円補助）について、ジェルコ会員の関心、取り組みへの意識について聞いてみた。まず「新規事業に取り組むので既に申請している」と会社はすでに5社（6.8%）あった。最も多い回答は、「補助金があることは知っている程度」が57.5%であった。「そんな補助金は知らない」も13.7%あった。

最後に、国や地方自治体で行っているリフォーム関連の補助金等が業界で余り利用されていないことについてどう思うかを聞いてみた。主な意見は次の通りである。

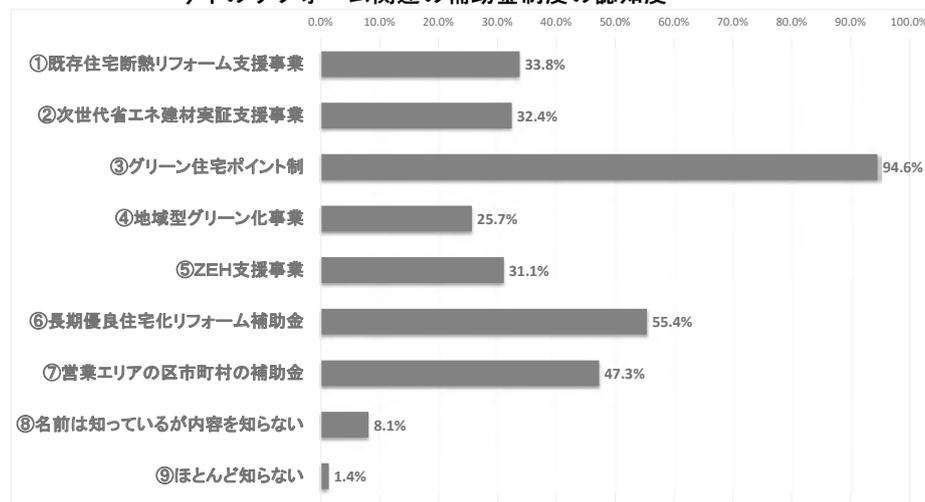
### ■会員からの意見

- ・利用するにはそれなりの勉強が必要なので、なかなか手が出せないのが現状だと思います。

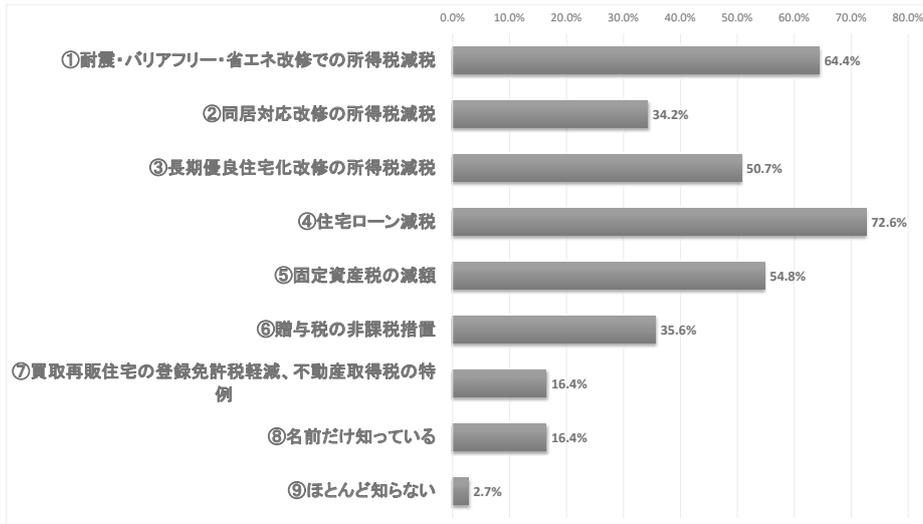
会員企業では補助金等をどのように取り組んでいるか



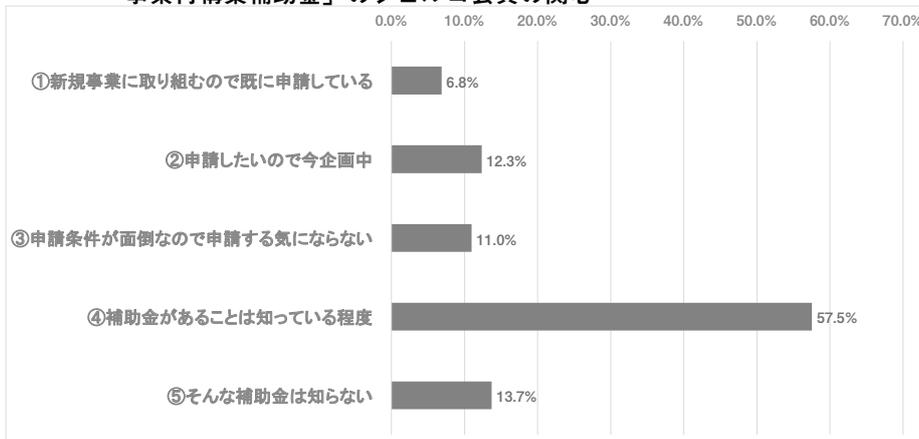
今年のリフォーム関連の補助金制度の認知度



## 今年のリフォーム関連の減税優遇措置の認知度



## 「事業再構築補助金」のジェルコ会員の関心



弊社のセミナーやサポートをご利用いただくことによって、利用が促進されればと思っています。

- ・補助金内容公開が遅く、募集期間が短い。
- ・リフォーム工事の質向上になるのであれば、積極的に利用すべき。
- ・補助金には上限があるので、他社が使わないということなら自社がその分使うだけです。
- ・手続きが面倒な補助金制度はなかなか力にはなりにくい。特に国の手続きは・・・。
- ・税金活用ですので、公平性、透明性が必要かと思いますが、申請のハードルが高い為、補助金を受けるために必要以上のリフォームを行う必要があるのが、現状だと思います。なので、活用されない場合が多いと思います。
- ・中小企業は少ない人数で行っているので手間がもう少し省ければ頻度がUPするのではないで

しょうか。

- ・申請手続きの簡易化を期待したい。
- ・やはり、手間と時間がかかることで皆、敬遠している。
- ・具体的な情報が不足していると思う。
- ・アンテナを張り、情報を収集すべき。
- ・リフォーム会社の強みを営業型と工務型の二種類とすると、工務型には苦手意識が先に走るのだと思う。
- ・周知不足かと思しますので、メディアミックスで周知すると良いと思われます。
- ・経営者の意識を変える必要性。手続きの簡素化等全体の補助金が少ないので、すぐに終了してしまふ。
- ・もっと人の目に触れるような媒体があれば、より周知できるのでは。例えばT

VのスポットCMなど（地元のラジオ、広報などでは見かけますが）。

- ・申請手続き等、簡略化されると利用しやすいと思います。
- ・シンプルではないし、担当が何のためにやっているかが分かっていない。
- ・使いにくいものが多く、手間がかかるのは事実告知方法やメリットにて現在よりも検討が必要と感じており、申請方法や告知方法等の改善が必要と考えております。

## ジェルコ事務局 ニューフェイス紹介

常務理事の北方さんと  
事務局の島村さん



### ジェルコを「生涯の仕事」と感じる 黒子役に徹し事業運営を支えたい 常務理事 北方 寛

今年度の総会で事務局体制の充実のため、新たに常務理事職が新設され、初代常務理事に北方寛氏が選任された。押部専務に次いでジェルコの常駐役員として会務推進を担っていくことになった。

北方常務は旧 I N A X に入社、業界一筋に歩んできた。ジェルコとの関りは山口慶之助会長の時、2006 年から 08 年まで I N A X としてメーカー理事を務めたことだ。その時、のジェルコの印象は強烈だった。「ジェルコが社団法人になる前の中間法人で、一般社団法人になるためにはどうするかとか、悪徳業者問題とか理事の方々の熱い議論に、憧れ半分恐れ半分で次第に引込まれていった」と思い出を語る。

その後、中国支社長、九州支社長、東京支社長、北関東支社長、最後は東京支社長に戻り活躍してきた。北関東支社長のときに、ジェルコの望月副会長と知り合い親しくなったこともあり、またジェルコの縁を感じていたが、昨年本社に戻ったところで今回のジェルコでの常務就任となった。

久しぶりのジェルコの印象を聞いてみると、「昔と比べてレベルアップしてきていいという

感じがします。関東甲信越支部の山崎会長とか、喜多ハウジングの今井さんとか、若い経営者の方々などを見ていると、最近のいろいろな時代の流れ等を読み取って、これからこうなるとか、これをやらなければいけないとか、明確に発言されるので、さすがだなと思いますね。また自らの会社でやっていることも多い」と、若手会員の行動力にびっくりしている。

既に3か月前から北方常務はジェルコに出社して、時々開催される委員会や支部会などに出席してきた。コロナ対策のためほとんどがオンラインでの会議で、なかなか会員の方々と親しく顔合わせが出来ないと気にしている。「やっぱり初対面の人が多いので、対応が大変ですね。一度酒でも飲んでいればいいのですが」と笑う。昔は会議後の懇親会(アフタージェルコ)は全出席の猛者だったよう。

とは言いつつも、3か月ほどのジェルコの動きを見て、改めて自分の役割も確認できたという。

「ジェルコでは各会議、委員会をいろいろやっていますが、それぞれテーマで一年、二年と議論している。私自身はこうした議論には背景を知らないのであまり突っ込めませんが、会議の仕方についてはじっくり議論するテーマでも時間を決めてやりましょうと正直思いますね。そう思うのは、私が十数年前に理事をしていた時と同じような感じだったからかもしれません。会員の皆さんはポ

ランティアでジェルコに来ているのでなかなか難しいとは思いますが、会議ではきっちり決めていきたいですね。でも、経営者の皆さんの意見をまとめていくのは相当難しいと思います。でも、だからその意味では私自身すごく勉強になります。事務局があんまり自分が出てしまうのはダメですし、一歩引かなければいけない。やっぱり主役は一種会員の方々です。どちらかと言うと私は会社員時代でも、現場の人間が動きやすくするため意見を聞き環境を整えてきたので皆さんの力になっていきたいと思っています」と黒子役に徹してジェルコを支えていきたいと意欲的だ。

総会での就任挨拶でも語っているが、北方理事は今年の初詣で引いたおみくじは大吉で仕事運の神託は「生涯の仕事に会おう」というものだったので「ジェルコに出向が決まったとき、縁と運命を感じた」という。

個人プロフィールは、1961年10月22日生まれ、59歳。広島県出身。現在「嫁1人娘2人息子2人孫3人20歳の柴犬1匹」とのこと。今取り組んでいることは肉体改造。アンチコロナ、アンチエイジングのため一日平均1万歩ウォーキング6カ月継続中、体重5キロ、ウエスト5センチ減に成功。好きな言葉は『いちやりばちょうでい(沖繩弁)』、『刻石流水』。楽しみは「食べ歩き飲み歩き(今はコロナ禍でできなくて悶々としています)。早く全国の会員様にお会いできることを楽しみにしています」とのことなので、好きな言葉の意味はその折に。

## 前職のガチガチ団体からジェルコへ 会員さんとの距離近く楽しく仕事 事務局員 島村 洋子

昨年の3月からジェルコの本部事務局員として在籍している島村洋子さん。全国の会員の方々も電話やオンライン会議でその声、姿など見知っている人も多いと思う。しかし、昨年3月からと言えば、緊急事態宣言で全国会員との交流が一挙に止まった時期で、リアル総会も中止、また11月

のジェルコリフォームコンテスト表彰式もオンラインとなり、残念ながら島村さんの紹介ができなかった。今回は遅ればせながら、大々的な島村さんの紹介です。

島村さんは、今ジェルコ事務局で日々の会員対応、各委員会、ジェルこまちなどのイベント開催でのサポートなど充実した仕事を行っている。すでに手慣れた感じだが、リフォーム、建築関連の業界は全くの初めてだ。

ジェルコの印象を聞くと「前職は、航空系の危険物運搬のマニュアルに関する資格関係の団体です。ガチガチに硬い仕事でした。だからジェルコに入ったとき、こんなに会員さんと距離が近いんだと驚きました。会議の後なんか、みんなで普通にぞろぞろ飲みに行きますが、前職ではそんなことが全くなかったですね」と語る。もうジェルコの良さが分かっている感じだ。

事務局の仕事にも興味もわいてきているようで、「とても勉強になります。リフォームの事も少しわかってきたように思います。これから異業種の方ももっと入ってくると思うので、そういう人たちとの輪が広がるのではないかなと思っています。会員さんも話好きや人付き合いが楽しいような人が多いですね。また癖が強い人が多いですね。でも私も癖が強いですから」と一言。

今一番の興味は「ジェルこまち、ジャンヌダルクなどです。ジャンヌダルクに興味をもって1社入会して来ました」と誇らしげ言う。女性の活躍できる活動を強化するためのサポートをしていきたいとのことだ。

自身の性格については、「血液型はO型なんで、マメじゃないです」というが、花好きで前職を退職する時に枯れかけた胡蝶蘭をいただき、自宅に持ち帰って生き返らせた。「蘭の寿命は30年くらいですよ」とさらに語る。出身は東京都の新小岩。実家は有名な焼き鳥屋さんで、たまに店に立つという。

最後に「皆様遅れましたがよろしくお願ひします。仕事は細かいことが多いのですが、仕事って、やはり人間関係だと思いますので、それはすごく恵まれていると思います」

## 2・3・4種会員PRコーナー

2・3・4種会員の皆様に自社のPRをして頂くコーナーを作りました。

PR内容は第1種会員を始め、自社以外の全ての会員様に自社の活動・売りたい商品（個人ベースでも可）を認知頂く主旨で開設致しました。

2・3・4種会員を1回のレポートで数社紹介させていただきます。約100社登録頂いていますので年3回として5年に1回廻る計算です。尚順番はジェルコ会員登録順にお声掛けしています。

同じ仲間として是非お目通し願います。

**NICE** ナイスグループ 70年の歴史と実績を持つ「ナイスグループ」の総合カ

有カメーカーからプライベートブランドまで **様々な木材・建材・住宅設備機器を供給**

**WOOD FIBER** 森から生まれた木質繊維断熱材「ウッドファイバー」  
<https://www.woodfiber.jp/>

**Smart power** 出力保証 **25年** 変換効率 **20.9%**

安定した品質の太陽光発電システムを提供  
<http://www.smart-power.co.jp/>

**ZENIYA** あらゆる商品をPB展開

**NICE** ナイスサポートシステム メニュー充実! 「ナイスサポートシステム」

工務店様やビルダー様の新築住宅・リフォーム受注をサポートする様々なメニューをご用意しました。ぜひご活用ください!

地域型グリーン化事業各種対応

**申請代行・省エネ計算サービス**

**技術的審査適合証**  
 認定長期優良住宅・認定低炭素住宅・性能向上計画認定住宅

**BELS評価書(ゼロエネ型)**

Webサービス(有料) **ステキリフォームプランナー** リフォーム工事を素早く見積もり

断熱工事・耐震改修工事の積算も可能!  
 マンション版開始!

入会金**0円**  
 年会費**55,000円(税込)**

**カタログ作成サービス**

お問い合わせは **ナイスサポートセンター** TEL 045-521-6198 nice-support@nice.co.jp 土・日・祝日を除く 9:00~17:30

**D&P ROOFING**

割れない!  
 飛ばない!  
 しかも  
**軽量で高耐久!**

天然石粒付鋼板屋根材  
**ディースルーフィン**

30年保証

【お問い合わせ先】 金属屋根メーカー  
**株式会社 ディーレーディング** 〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-19-8-5F  
 TEL:03-3555-2115 FAX:03-3555-2117  
<https://deetrading.co.jp>

**D&P ROOFING**

塗装できない?

基材がはがれている  
 割れ・欠けが多すぎる  
 幾度の塗り重ね  
 小口が荒れる

こんな症状の屋根  
 どう対応してますか?

私達は、屋根に関するお悩みを解決へと導く  
 金属屋根メーカーです。

屋根のお見積りから工事まで、全てご相談ください。

建築企画設計/意匠設計/プレゼンテーションソフト

**3D Archi Designer**®

www.megasoft.co.jp/3darchi11pro

高画質3DCGで完成イメージを見える化

新築も  
リフォームも  
3Dがわかりやすい

オンライン  
打ち合わせにも最適

平面図・間取り図作成

プレゼンボード作成

スマホ・タブレットで情報共有

高画質ウォークスルー動画出力

図面作成、3Dプランニング、施主へのプレゼンテーション、施工業者との情報共有、そのすべてを3Dアーキデザイナーで。 MEGASOFT。

リフォーム業界No.1 支援実績 **SHIP**

生活者と自社を繋ぐ集客ストーリー計画! 無料ZOOM相談

30分ZOOMミーティング

2分でわかる動画講座公開中!

zoom 無料相談

**SHIP** 支援事例 詳しくはWEBへ ☎ **03-3868-9624** 株式会社シップ 検索 [mail] info@shipinc.co.jp

[担当] 山本 [住所] 東京都文京区後楽 1-4-14 後楽森ビル3階



## ① 支部会（役員会・定例会など）の使い方

ジェルコでは全国どの支部でも定期的に定例会、支部会、ブロック会、地区会、支部役員会などを開催しており、毎回様々なテーマで話し合わせ、情報交換の場として活用されているほか、様々なセミナー、講習会なども企画・実施されています。こうした会合やイベントなどは会員であれば誰でも参加できますので、ジェルコの毎月の活動を肌で知ることができます。



## ② 各種セミナー、勉強会の使い方

ジェルコの全国8支部では年間を通じて、ほぼ毎月様々な活動をしています。本年はZOOMを使ったセミナーを充実させています。本部発信のWelcome JERCO Salonは、ミニセミナーと商材等紹介を行い、終了後には情報交換会を行っています。詳しくは本部事務局にお問合せください。



## ③ 増改築相談員（新規・更新）研修会の使い方

これからリフォームをしようと考えている人が最初に悩むことは「どの業者に頼もうか」ということです。そのようなとき、他社と差別化できる資格が増改築相談員です。実務経験10年以上のキャリアを有した増改築相談員であることをPRすることで、技術的な信用度もグッと上がります。ジェルコでは全国8支部で、毎年増改築相談員研修会を開催しています。開催日程など詳しい情報はジェルコのホームページをご覧ください。今期も「3密」を避けながら開催しています。



## ④ ジェルコ総合補償制度と「みんなのミカタ」の使い方

ジェルコ独自の工事保険として好評の「ジェルコ総合補償制度」は約100社が加入しており、

- ① 工事中の工事そのものの損害
- ② 工事中の第三者に与えた損害(施主の財物も含む)
- ③ 工事完了引渡し後に施主や第三者に与えた損害
- ④ 工事期間中に工事現場で偶然な事故により工事対象物などに生じた損害

を総合的に補償します。

2019年からは従業員の福利厚生を目的に、日本初！業種団体一括加入の「みんなのミカタ」(団体長期障害所得補償制度)も立上げ、募集をしています。

総合補償制度、「みんなのミカタ」ともに国内トップ水準の保険料率です。随時受け付けていますので、是非参加されることをお薦めします。

## ⑤ ジェルコアカデミーの使い方

ジェルコ会員としてリフォーム事業を遂行するために備えておきたいリフォームに関する総合的な知識を学ぶために、ジェルコリフォームアカデミーがあります。主だった事業は以下ようになります。

① ベーシックコース：ジェルコ会員必須受講となっており、「ジェルコ倫理憲章」と「リフォーム業務品質」の2科目で構成されています。倫理憲章では会員としての行動規範、リフォーム事業者としての心構え等について学びます。リフォーム業務品質では適切かつ最低限必要なリフォーム工事のガイドラインについて学びます。

② 住宅リフォーム総合技術者2級講習：2016年より、新入社員を含む実務経験年数の浅い方を対象にした資格制度を創設しました。合格者には修了証と登録カードを発行しています。2019年度よりオンデマンド受講でコロナ禍の中講師と対面せずに学べます。



## ⑦ 企業訪問（ベンチマーク）の使い方

ジェルコ創設以来の伝統と言えるのがこのベンチマークです。地域戦略を基本としているリフォーム事業ですので、エリア外会員の企業訪問申し込みに快く受け入れてノウハウを提供してくれる会員が多くいます。近年では個社同士だけではなく、支部単位でのベンチマーク研修会が増えてきました。

※現在は一部で実施中です。



## ⑥ ジェルコリフォームコンテストの使い方

デザインの優劣を競うデザイン部門は毎年500点前後の応募があり、全国的にも権威のあるコンテストになりました。また2017からは経済産業省のバックアップを受け、ビジネスモデル部門を新設し、最優秀賞には「経済産業大臣賞」が贈られます。2018年からはユーザーフォト部門を新設し、リフォームに関するスナップ写真に賞を贈っています。

毎年7月から応募を開始していますので、ジェルコホームページをご覧ください。奮っての応募をお待ちしています。



## ⑧ アフタージェルコ（懇親会）の使い方

全国8支部のジェルコでは、毎月役員会やセミナーなどを開催しています。多くの支部では会合の後に懇親会（アフタージェルコ）をセットしています。

ここでは昼間のセミナー等では聞けなかったこと、聞きそびれたことなどを、オープンに聞くことができます。セミナー講師が参加されることも多いので、じっくりと疑問点や問題点を掘り下げて聴くこともできます。このアフタージェルコから参加される会員もいます。

※現在は一部で「3密」を避けて実施中です。



## ◆北海道支部

### 【打合わせ】

1月14日、支部長・事務局長の打合せを開催した。

### 【役員会】

1月19日、オンラインにて北海道支部役員会を開催。本部事務局も参加した。

### 【役員会】

2月8日、オンラインにて北海道支部役員会を開催。本部事務局も参加した。

### 【増改築相談員研修会】

3月5日、増改築相談員研修会を開催。新規22名、更新11名が受講した。

### 【例会】

3月23日、北海道支部の例会を開催したほか、リフォームコンテストの表彰式も執り行われた。

## ◆東北支部

### 【役員会】

1月28日、平和住宅情報センターにてオンライン併用で東北支部役員会を開催した。

### 【役員会】

3月18日、TKP ガーデンシティ PREMIUM 仙台西口にて役員会を開催したほか、リフォームコンテストの表彰式も執り行われた。

### 【増改築相談員研修会】

3月25日、フォレスト仙台会議室にて増改築相談員研修会を開催。11名が受講した。

## ◆関東甲信越支部

### 【役員会】

1月7日、ジェルコ会議室にてオンライン併用で関東甲信越支部役員会を開催。18名が参加した。

### 【表彰式】

1月27日、オンラインにてリフォームコンテスト2020デザイン部門の表彰式を開催。91名が参加した。

### 【女子会】

2月3日、オンラインにて第25回ジャンヌダルクの会を開催。41名が参加した。

### 【ブロック会】

2月9日、ホテルザノットヨコハマにて神奈川ブロック会を開催。5名が参加した。

### 【増改築相談員研修会】

2月16日、TOTOテクニカルセンターにて増改築相談員研修会を開催。新規3名、更新20名が受講した。

### 【増改築相談員研修会】

2月25日、内海本館東京学院ビルにて増改築相談

### 【ご当地の名所・名物紹介！】

#### 関東甲信越支部：山崎さんからの情報

我が本丸「竹ノ塚」は東京の北部に位置し、ジェルコ本部所在の八丁堀から地下鉄日比谷線で30分余り。

駅周辺から500m程離れると、東口には小林一茶所縁の寺として有名な炎天寺、西口には21もの寺が薙めく寺町が在り、「一丁倫敦為らぬ一丁京都」と…

更に東口西口共に歩を進めると、東に地元足立区は元より近県からの来訪も多い「光のページェント」で有名な元洲公園が、西に約63ヘクタールに及ぶ都内有数の舎人公園が…

とまあ、思い付くままに列記しましたが実際にこれらを廻るとなると一日では至難！、ビジネスホテルに宿し、夜は下町名物のもんじゃ焼きで疲れを癒やし…

お声掛け頂ければ、喜んでお供させて戴きます。



員研修会を開催。新規3名、更新10名が受講した。

#### 【役員会】

3月4日、ジェルコ会議室にてオンライン併用で関東甲信越支部役員会を開催。21名が参加した。

#### 【ブロック長会議】

3月4日、オンラインにてブロック長会議を開催。5名が参加した。

#### 【委員会】

3月11日、ジェルコ会議室にて第6回体制整備委員会を開催。7名が参加した。

#### 【ブロック会】

3月18日、(株)サンプロにて群馬ブロック会を開催。5名が参加した。

#### 【増改築相談員研修会】

3月23日、LIXIL 東京ショールームにて増改築相談員研修会を開催。更新のみ24名が受講した。

#### 【役員会】

4月8日、ジェルコ会議室にてオンライン併用で第1回役員会を開催。役員20名が参加した。

#### 【ブロック会】

4月19日、オンラインにて東京ブロック会を開催し、会社規模に合わせた事業継承セミナーを実施。24名が参加した。

#### 【ブロック会】

4月28日、オンラインにて東京ブロック会を開催し、アスベスト対策セミナーを実施。56名が参加した。

#### 【役員会】

5月13日、オンラインにて第2回役員会を開催。役員20名が参加した。

#### 【女子会】

6月10日、オンラインにて第26回ジャンヌダルクの会を開催。55名が参加した。

#### 【ブロック会】

6月17日、LIXIL 横浜ショールームにてオンライン併用で神奈川ブロック会を開催。会場では8名、オンラインでは79名が参加した。

## ◆中部北陸支部

#### 【役員会】

1月19日、オンラインにて中部北陸支部役員会を

### 【ご当地の名所・名物紹介！】

#### 性能アカデミー委員会：山名さんからの情報

私は岡山の生まれで、出身地を言うとほとんどの方が「きび団子」をイメージされます。しかし、岡山には桃や梨などの果物、瀬戸内のお魚を始めとしたおいしいものが沢山ございます。今回は「ままかり」を、ご紹介します。

「ママ(ご飯)をカリ(借り)に行くほどおいしい」ということから、その名がついたそうです。一般的には「サッパ」と呼ばれるらしいですが、私はこの名は聞いたことがありません。初夏のママカリは骨や皮も軟らかく、秋のママカリは脂がのっていておいしくいただけます。酢漬けにして食べることが多く、郷土料理「祭り寿司」の具材には欠かせないお魚です。「祭り寿司」、またの機会のお楽しみに。



開催し、来期計画や実践研の人選を話し合った。10名が参加した。

#### 【増改築相談員研修会】

2月10日、クリナップ名古屋ショールームにて増改築相談員研修会を開催。14名が受講した。

#### 【役員会】

2月19日、オンラインにて中部北陸支部役員会および、実践研リハーサルを開催。11名が参加した。

#### 【役員会】

3月5日、LIXIL 名古屋ショールームにてオンライン併用で中部北陸支部役員会のほか、全国実践研究会を開催した。

#### 【定例会】

4月6日、ゆいりビングモデルハウスにて中部北陸支部定例会をし、アルティザン建築工房 新谷孝秀氏によるセミナーを実施。20名が参加した。

## ◆近畿支部

### 【定例会】

2月2日、オンラインにて近畿支部の定例会および委員会を開催した。

### 【定例会】

6月1日、オンラインにて近畿支部の定例会を開催した。

## ◆中国四国支部

### 【役員会&表彰式】

1月28日、広島グランドインテリジェントホテルにて中国四国支部役員会を開催したほか、リフォームコンテスト2020中国四国支部大会の審査および表彰式も執り行った。12名が参加した。

### 【役員会】

3月5日、広島グランドインテリジェントホテルにて中国四国支部役員会を開催。12名が参加した。

### 【ご当地の名所・名物紹介！】

#### 九州事務局：小山さんからの情報

福岡市内から約1時間の福津市に所在する「宮地嶽神社」は、男性アイドルグループ『嵐』が出演し、JALのTVCMで、鳥居に沈む夕陽を『光の道』として紹介され、奇跡的な光景が見られる神社として有名になりました。それ以外でも日本最大の注連縄や大太鼓、大鈴があります。

そして6月には境内全体に100種10万株の江戸菖蒲が咲き乱れ参拝者の目を楽しませてくれます。



### 【住生活月間会議】

3月18日、広島県庁にて開催されたひろしま住生活月間実行委員会第4回会議に参加した。

### 【役員会】

5月18日、広島オフィスセンターにてオンライン併用で第1回中国四国支部役員会を開催した。

### 【住生活月間会議】

5月19日、広島県庁にて開催されたひろしま住生活月間実行委員会の第1回会議に参加した。

## ◆九州支部

### 【役員会&セミナー】

1月21日、オンラインにて役員会が開催されたほか、TDYとの共催でテイキング・ワンの田籠道子氏によるセミナー「グリーン住宅ポイント制度スタート！」を開催。595名が参加した。

### 【役員会】

3月5日、オンラインにて九州支部役員会のほか全国実践研究会を開催。26名が参加した。

### 【セミナー】

5月13日、オンラインにて㈱テイキング・ワンの田籠道子専務取締役によるセミナー「使いやすい！補助率が高い！次世代省エネ建材補助金制度」を開催。26名が参加した。

## ◆沖縄支部

### 【定例会】

1月28日、オンラインにて沖縄支部定例会を開催。本部より盛会長と押部専務が参加し、来期の事業計画や委員会報告、オンライン会議の強化、全国実践研究会について話し合った。

### 【定例会】

3月25日、オンラインにて沖縄支部定例会を開催。本部より押部専務が参加し、来期の事業計画や支部方針について話し合ったほか、テイキング・ワンの田籠道子氏によるグリーン住宅ポイントセミナーも開催された。

### 【役員会】

4月20日、LIXIL ショールームにて沖縄支部役員会を開催。事務局・メーカーを含む6名が参加した。

## 新入会員紹介



### 【九州支部】

株式会社 B's Plan

代表取締役 小山素子 さん

福岡県飯塚市 第4種会員

13期から4種会員に入会いたしました(株)B's Planの小山です。

ジェルコ様とのご縁は23年前から。最初は広告会社として、イベント企画やチラシ制作の仕事をさせていただいてました。現在も広告の仕事しながらジェルコ九州支部の事務局をお手伝いしています。

正会員として今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



### 【近畿支部】

株式会社無添加住宅

代表取締役 難波宏之 さん

兵庫県西宮市 第4種会員

弊社は、「身体に悪いものは使わない」の理念の基に全国で代理店展開を行なっています。無添加住宅らしい、可愛いデザイン力と業界最高水準の安全な建材を使い「無添加住宅リフォーム」代理店募集を始めました。

本物の自然素材がつくる健康的な室内空気や経年変化しても味わいを増すデザインは、他では真似の出来ません。加盟金・年会費・月会費無しの代理店制度です。

どうぞよろしくお願いいたします。



### 【近畿支部】

株式会社オガワ

代表取締役 小川博成 さん

京都府下京区 第1種会員

株式会社オガワは、もともと配管材料の卸売業として創業65年の会社になります。昨今、市場環境の変化に伴い、リフォーム事業を本格的に拡大し始めました。

まだまだ若輩者ではございますが、温かいご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



**【関東甲信越支部】**

**TAKEUCHI 株式会社**

**代表取締役 野村一磨 さん**

**東京都新宿区 第1種会員**

TAKEUCHI (株)は、住環境を中心とした皆様の暮らしをあらゆる面から支える会社です。住宅リフォーム、リノベーションはじめ、空調、水道、電気、ガスなど、幅広い業務の展開をしております。

地域の皆様の暮らしを支えたい。それが慶応元年創業より今日まで続くTAKEUCHIの変わらない想いです。

■ ジェルコ支部所在地 ■

**北海道支部事務局**

〒104-0032 東京都中央区八丁堀 1-3-2 佐藤ビル 3F  
Tel:03-5541-6051 / Fax:03-5541-0128

**東北支部事務局 (株)感動ハウス**

〒990-0074 山形県山形市芳野 64 番地  
Tel:023-632-7735 / Fax:023-632-3869

**関東甲信越支部事務局**

〒104-0032 東京都中央区八丁堀 1-3-2 佐藤ビル 3F  
Tel:03-5541-6051 / Fax:03-5541-0128

**中部北陸支部事務局 (株)リビング春日井**

〒486-0807 愛知県春日井市大手町 3-14-13  
Tel:0568-82-8717 / Fax:0568-82-8723

**近畿支部事務局 (有)ミオ・デザイン**

〒657-0846 兵庫県神戸市灘区岩屋北町 1-5-20  
Tel:078-801-2537 / Fax:078-801-2538

**中国四国支部事務局 (株)やまもと住研**

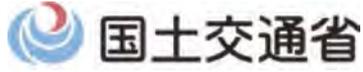
〒737-0823 広島県呉市海岸 1-4-3  
Tel:0823-25-7404 / Fax:0823-25-7404

**九州支部事務局 B's Plan**

〒820-0004 福岡県飯塚市新立岩 2-13  
Tel:0948-22-2929 / Fax:0948-52-6470

**沖縄支部事務局 (有)サニマイト**

〒901-2215 沖縄県宜野湾市真栄原 3-11-14  
Tel:098-898-6444 / Fax:098-897-6696



公益財団法人  
住宅リフォーム・紛争処理支援センター

一般社団法人 住宅リフォーム推進協議会

ジェルコリフォームコンテスト

コレカラ

みんなのミカタ

第1種会員



北海道支部

関東甲信越支部



東北支部

中部北陸支部



特別会員

第2種会員



九州支部

近畿支部

沖縄支部

中国四国支部



第4種会員

第3種会員



ジェルコ総合補償制度

安心R住宅

一般財団法人  
住まいづくりナビセンター





一般社団法人  
日本住宅リフォーム産業協会

**JERCO  
REPORT**  
No.286

発行日 2021年7月（創刊 1985年1月）  
発行所 一般社団法人 日本住宅リフォーム産業協会  
〒104-0032 東京都中央区八丁堀 1-3-2 佐藤ビル 3F  
TEL：03-5541-6050 FAX：03-5541-0127 URL：http://www.jerco.or.jp  
年間購読料 一部／500円（税込）